

アルファグループ株式会社
平成29年3月期 決算説明会

2017年6月15日（木）

サマリー

平成29年3月期総括

◆既存の収益基盤に依存せず、さらなる成長のため積極的な投資を実施

- ・ モバイル事業：販売市場の沈静化、また新規取り組みへの積極的投資により減収減益
- ・ オフィスサプライ事業：継続収益を維持し、増益
- ・ 水宅配事業：顧客譲受の実施により、増収増益
- ・ 再生可能エネルギー事業：新たな投資は控え転売に注力したことにより、減収増益
- ・ 環境商材事業：新たな将来収益源の確立のため、LED照明機器の販売・レンタルの展開に注力

平成30年3月期事業方針

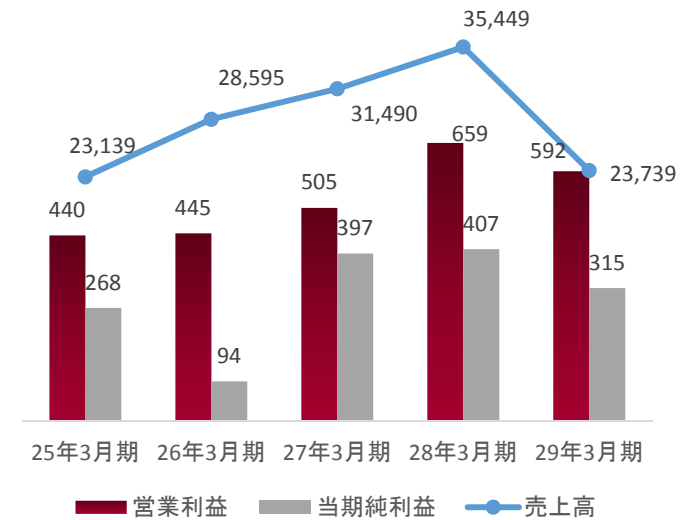
◆さらなる成長を目指し、将来への投資を継続

- ・ 新規事業への積極的な投資を継続
- ・ 既存事業においても一歩踏み込んだ進化を目指す

平成29年3月期 決算実績

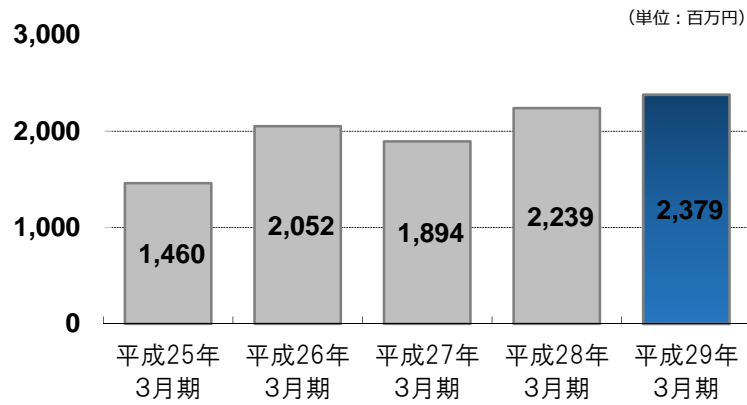
◆ 「売上高」「営業利益」「経常利益」「当期純利益」のすべてが減少

単位：百万円	平成28年3月期 実績	平成29年3月期 予算	平成29年3月期 実績	対前年実績増減額/率		対予算増減額/率	
売上高	35,449	29,265	23,739	▲ 11,710	▲ 33.0%	▲ 5,526	▲ 18.9%
営業利益 (利益率%)	659 (1.9%)	708 (2.4%)	592 (2.5%)	▲ 67	▲ 10.2%	▲ 116	▲ 16.4%
経常利益 (利益率%)	625 (1.8%)	687 (2.3%)	594 (2.5%)	▲ 31	▲ 5.0%	▲ 93	▲ 13.5%
当期純利益 (利益率%)	407 (1.1%)	444 (1.5%)	315 (1.3%)	▲ 92	▲ 22.6%	▲ 129	▲ 29.1%

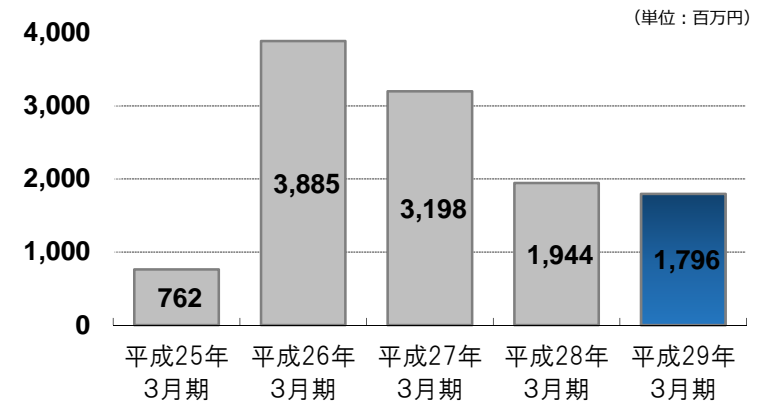


財務状況

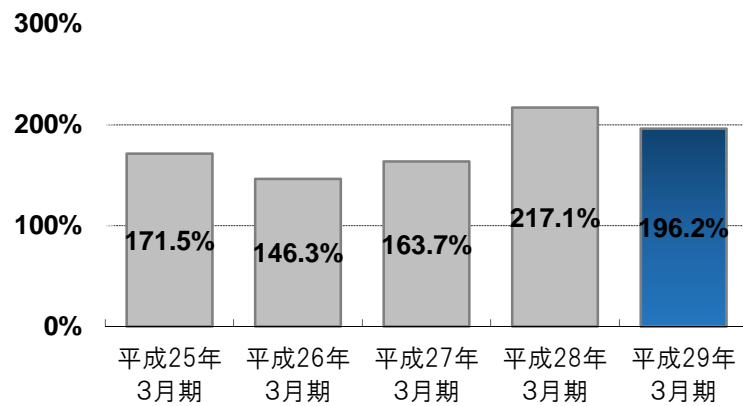
現金および預金



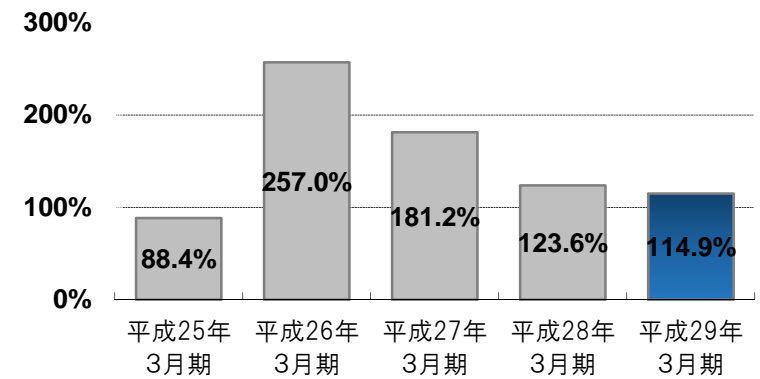
借入金



流動比率



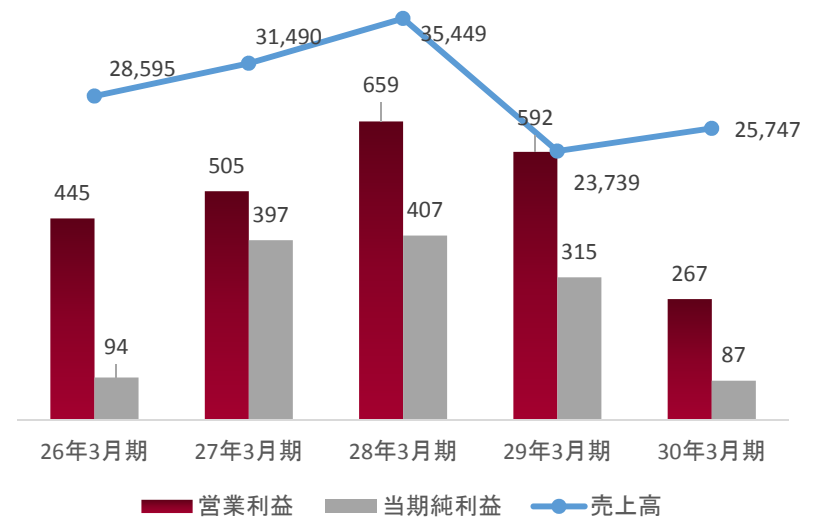
負債比率



平成30年3月期 連結業績予想

◆ さらなる成長を目指し、将来への投資を継続

単位：百万円	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 計画		対前年実績増減額/率		
		上期計画	下期計画			
売上高	23,739	25,747	12,386	13,361	2,008	8.5%
営業利益 (利益率%)	592 (2.5%)	267 (1.0%)	77 (0.6%)	190 (1.4%)	▲ 325	▲ 54.9%
経常利益 (利益率%)	594 (2.5%)	251 (1.0%)	68 (0.5%)	183 (1.4%)	▲ 343	▲ 57.7%
当期純利益 (利益率%)	315 (1.3%)	87 (0.3%)	3 (0.0%)	84 (0.6%)	▲ 228	▲ 72.4%



セグメント別 取り組み

モバイル事業の総括と方針

単位：百万円	平成29年3月期 実績				平成30年3月期 計画		
		前年実績	増減額	比率		増減額	比率
売上高	15,940	26,608	▲ 10,668	▲40.1%	17,977	2,037	12.8%
営業利益 (利益率)	154 (1.0%)	226 (0.8%)	▲ 72	▲31.9%	19 (0.1%)	▲ 135	▲87.7%

平成29年3月期総括

◆前年と比べ、「売上高」、「営業利益」共に減少

- ・携帯電話端末の実質購入価格の上昇が販売台数に影響し、売上高が伸び悩む
- ・新規取組みのスマートフォンアクセサリ専門ショップの出店を進めるなど、積極的な投資を実行

平成30年3月期事業方針

◆市場の変動に対応すべく販売網強化及び新たな商材・販路の開拓を進める

- ・当社による販売網強化
- ・MVNO等の新たな商材や販路の開拓に積極的に取り組む
- ・「SmaPla」販売網を30店舗まで拡大

モバイル事業 29年3月期取り組み（店舗出店状況）

◆ 店舗数

平成29年3月末時点：
114店舗

前期出店 21店舗

■ キャリアショップ	1店舗
■ MVNOショップ	4店舗
■ 併売店	7店舗
■ アクセサリーショップ	9店舗

<店舗構成>



モバイル事業 29年3月期取り組み（店舗出店状況）

◆ 首都圏（一都三県）以外への出店



28年12月auカインズ名古屋みなとOPEN



29年1月モバワン新前橋OPEN

モバイル事業 29年3月期取り組み（店舗出店状況）

◆ MVNO専売ショップの出店



29年3月UQスポット仙川OPEN



29年3月楽天モバイルららぽーと海老名OPEN

アクセサリ関連の取り組み状況

「スマホアクセサリのセレクトショップ」 SmaPla

今期中に販売網を30店舗まで拡大予定

平成29年3月末現在：
14店舗

■ 東京	4 店舗
■ 神奈川	3 店舗
■ 千葉	4 店舗
■ 埼玉	3 店舗



SmaPlaららぽーと横浜
(29年3月OPEN)



オリジナルブランド「Trefoil」
(28年12月販売開始)

オフィスサプライ事業の総括と方針

単位：百万円	平成29年3月期 実績				平成30年3月期 計画		
		前年実績	増減額	比率		増減額	比率
売上高	6,508	6,749	▲ 241	▲ 3.6%	7,031	523	8.0%
営業利益 (利益率)	259 (4.0%)	231 (3.4%)	28	12.1%	183 (2.6%)	▲ 76	▲ 29.3%

平成29年3月期総括

◆前年と比べ「売上高」は減少、「営業利益」が増加

- ・引き続き、購入顧客の質的向上に注力
- ・新設法人向け冊子「起業したら」を発刊するなど、新たな収益源の確保の試みを実行

平成30年3月期事業方針

◆見込み顧客の獲得（量）から「購入顧客の創造」（質）へ

- ・新コールセンターの開設により、優良顧客の増加を目指す
- ・新商材の開拓等、収益基盤の拡大に努める

カウネット事業について



<総合販売カタログ>

OA機器から生活用品まで幅広いラインナップ

最近生活用品の販売も好調



<「カウコレ」プレミアムお困りごと解決BOOK>

「カウコレ」プレミアムマガジンを大幅に進化

カウネットならではの独自の価値を提供

オフィスサプライ事業29年 3月期取り組み

新設法人向けのスタートアップブック

起業したら

平成28年6月創刊

「融資の受け方は？」

「税理士、弁護士などの士業の先生の探し方は？」

など、 起業時に有用な情報を多数掲載

起業家のためのスタートアップブック

2016年版

起業したら

起業後は何をすればいいの？

起業したらやるべき5項目

TOPメッセージ
アルファグループ代表取締役社長
吉岡伸一郎

おもしろデータあれこれ
起業に関するデータ集

どんな人が成功するの？
成功するタイプランキング

○○○○○○○○○○○○○○○○
巻末○○○○○○○○



オフィスサプライ事業30年 3月期取り組み

◆ コールセンター奈良の開設（7月OPEN予定）

今後は奈良・愛媛の2拠点体制で、さらなる収益基盤の確立に注力

コールセンター奈良：
カウネット顧客の獲得に特化

既存事業の拡大

コールセンター愛媛：
新規商材の獲得等、カウネット以外の
テレマーケティング

新規取り組みに注力



水宅配事業の総括と方針

単位：百万円	平成29年3月期 実績				平成30年3月期 計画		
		前年実績	増減額	比率		増減額	比率
売上高	242	181	61	33.7%	340	98	40.5%
営業利益 (利益率)	95 (39.3%)	54 (29.8%)	41	75.9%	103 (30.3%)	8	8.4%

平成29年3月期総括

◆前年と比べ「売上高」、「営業利益」共に増加

- ・合計3回の顧客譲受を実施したため、「STOCK」の増加に繋がる

平成30年3月期事業方針

◆投資したリターンとして「STOCK」（継続収入）を回収する

- ・既存のお客様にウォーターパックをご購入頂くことで、継続的に収益を得られるビジネスモデルを維持する
- ・前期の顧客譲受の結果として、今期においても増収増益の見込み

再生可能エネルギー事業の総括と方針

単位：百万円	平成29年3月期 実績				平成30年3月期 計画		
		前年実績	増減額	比率		増減額	比率
売上高	861	1,932	▲ 1,071	▲55.4%	117	▲ 744	▲86.4%
営業利益 (利益率)	161 (18.7%)	146 (7.6%)	15	10.3%	48 (41.0%)	▲ 113	▲70.2%

平成29年3月期総括

◆前年と比べ、「売上高」が減少、「営業利益」が増加

- ・売却対象案件の減少により売上は減少
- ・売却が首尾よく進んだ一方で、市況を鑑みて貸倒引当金を計上し約160百万の営業利益

平成30年3月期事業方針

◆投資したリターンとして「STOCK」（継続収入）を回収する

- ・保有するメガソーラー施設から発生する売電収入や転売した物件から生じる土地の賃料等、着実な「STOCK」を確保する

環境商材事業の総括と方針

単位：百万円	平成29年3月期 実績			平成30年3月期 計画			
		前年実績	増減額	比率	増減額	比率	
売上高	224	—	—	—	280	56	25.0%
営業利益 (利益率)	▲78 (▲34.8%)	—	—	—	▲87 (▲31.1%)	▲9	11.5%

平成29年3月期総括

◆新たな収益基盤の構築のため、LED照明機器の取り扱いの本格展開を開始

- ・テストマーケティングから市況を鑑みて、本格的な展開へ移行
- ・初期費用の発生するレンタルスキームの展開により、初年度は赤字

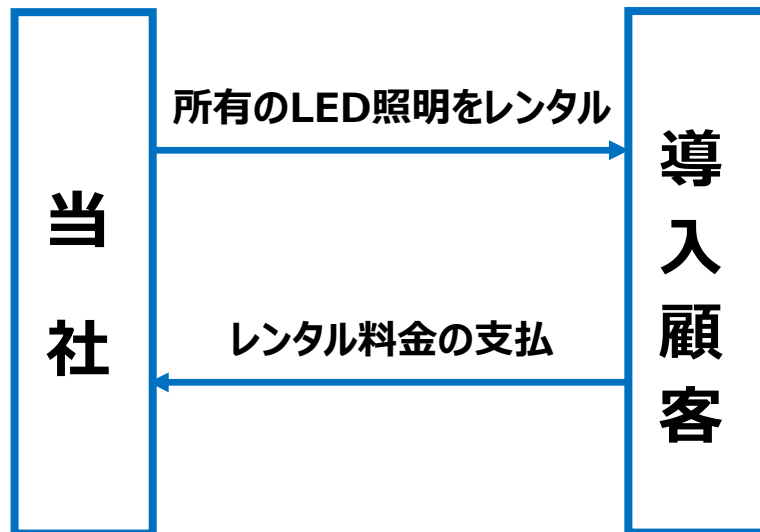
平成30年3月期事業方針

◆早期の収益化を目指し、積極的な投資を進める

- ・レンタルスキームの構築
- ・自社製品の展開

当社LEDの特徴

◆ レンタルシステム



顧客：LED導入への障壁となる初期費用を抑制
当社：利用期間に応じた将来収益の発生

◆ MIMAMOシリーズ



国際ノイズ規格CISPR11・15・22に適合し、
病院等での使用に耐える高性能LED照明

企業理念

『人に、よりよく』

本資料に記載されている当社の計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料作成時において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内での判断に基づくものです。

しかしながら、現実には通常予測し得ないような特別事情の発生または結果の発生等により、本資料記載の計画とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆さまにとって重要と考えられるような情報の積極的な開示に努めて参りますが、本資料の計画のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられますようお願いいたします。

問い合わせ先： 経営企画 I R 担当 03-5469-7302